



1 小中一貫教育全国連絡協議会による視察

(1) 視察の概要

7月22日（金）、「第17回 小中一貫教育全国サミット in 飯塚」の開催に向け、小中一貫教育全国協議会（以下、協議会）による視察が実施されました。

協議会は品川区教育委員会事務局に設置されているため、同教育委員会指導課の課長、係長、指導主事の3名の方が来飯され、午前中に飯塚市教育委員会事務局との「サミットの運営に関する協議」等を午後に穂波東校を来校され、その進捗状況や施設の確認等を行いました。

(2) 穂波東校の視察

① 進捗状況の説明

穂波東校の視察の前半では、「全体のスケジュール表（裏面資料参照）」や「研究紀要や実践発表の第一次原稿」等を示しながら、全国サミットに向けた本校の進捗状況を説明しました。

これに対して協議会より「穂波東校の取組は順調に進んでいる。」「穂波東校授業スタンダードを通して、日常的な『主体的・対話的で深い学び』の実現に取り組んでいることは価値がある。」との評価をいただきました。

また、質疑の中で協議会より「これまでの全国サミットの公開授業において、授業としては大変素晴らしい内容だが、小中一貫教育の視点に欠けるものを多く見てきた。この点について穂波東校ではどのように取り組むか。」という質問が出されました。この質問に対して「指導案の単元観において、本単元に関わる内容だけではなく、本単元に繋がる前後の単元に関わる内容を記述することを通して『子どもたちの学びの過去・現在・未来をつなぐ視点をもった授業づくり』の実現に取り組めます。」と回答し、ご理解をいただきました。



協議会・飯塚市教委事務局への穂波東校経営部からの「進捗状況の説明」の一場面

説明会で配布した資料

左より「研究紀要」「実践発表のプレゼン・読み原稿」「公開授業関連資料」「小中一貫教育のすゝめ」「穂波東校小中一貫教育だより（開校からの歩み）」「学校紹介パンフレット」

② 施設の確認

視察の後半では、授業公開を行う各教室や、発表会を行う大アリーナのづくりや状況等を確認されました。



大会当日の来校者の動き等をシミュレーションしながら、校舎内の様々な場所を確認されました。

全国サミットに向けた夏季休業中の取組は「指導案の作成」と「環境づくり」となります。

夏季休業中と言えども、研修会や諸会議、中学部は部活動大会等、忙しい日々が続きますが、何卒よろしくお願い致します。